

報告事項

(1) 令和4年度事業報告

我が国経済は、コロナウイルス感染症2019の影響に加え、ロシアによるウクライナ侵略の長期化により、コロナ禍前の水準に至らず、深刻な景気後退をもたらした。

一方、長年にわたる公共投資の削減、人口減少や高齢化の進展による技術・技能者の高齢化や若年入職者の減少により技術・技能の継承の困難化、資材単価・人件費の高騰など多くの問題が山積しており、依然として厳しい経営環境を余儀なくされた。

このような中、建設業界にあって唯一樹木や草花などの「生き物」を扱い自然と調和した社会資本整備の一翼を担う一般社団法人として、県民共有の財産である九十九里海岸保安林の再生支援、門松づくり等の造園技術の継承など、広範な公益事業を展開し造園業界の知名度向上に努めてきた。

また、技術の向上と人材の育成、情報の収集と提供、経営合理化促進の支援などの会員企業の発展及び関係機関との連携に努めてきた。

1 主な事業の概要

(1) 公益目的事業

ア 海岸保安林再生支援

広葉樹による九十九里海岸保安林の再生を目指し、平成28年3月、ウバメガシ、シャリンバイなど9樹種614本の広葉樹を植栽した「千葉県造園協会の森（横芝光）」の生育調査を2回実施し、生育調査結果について千葉県北部林業事務所の関係者に報告した。

イ 伝統技術の継承

① 和風庭園づくりにおける基本的技術・技能の習得のため、県内外の造園環境緑化に携わる者を対象に、実技講習及び関係法令、工法、安全管理などの座学講習を行い造園技能士及び後継者育成に努めた。

② 造園に係る伝統技術継承の一環として、「本格的門松づくり講習会」を開催し、完成した門松を県庁、千葉県文化会館など4箇所に寄贈した。

また、伝統文化の魅力を身近に知っていただくため、「ミニ門松づくり講習会」を一般市民対象に開催し、家庭に伝統的風物詩として飾られた。

ウ 防災協定に基づく県立都市公園の安全確保と支援

知事及び地域の土木事務所と締結している防災協定に基づき、県からの要請に迅速かつ的確に対応するため、令和4年度県土整備部震災訓練に参加し、各土木事務所と一体となって被災状況報告訓練、情報伝達訓練等を実施し連携を強化した。

また、「災害応急対応に係る本部員・施工業者・班長合同会議」を開催し、改善点等の検討を行った。

(2) 会員支援事業

ア 技術・技能の向上と人材の育成

- ① 会員の技術・技能の向上はもとより造園専門資格取得を支援するため、造園技能検定実技試験講習会及び（一社）日本造園建設業協会千葉県支部との共催により街路樹剪定士研修会を開催した。
- ② 技術・技能等の向上を図るため「実務者セミナー」を開催した。
- ③ 造園技能検定実技試験の受検対策として、自主的に練習できる場所の設置及び材料等の提供を行った。

イ 人材の確保

- ① 技術者の高齢化が進行する一方で若年者の入職が少ないことから、造園業の持続的な発展に必要な若年者を確保するため、造園課程のある高等学校等と就職について情報交換会を行った。
- ② 会員企業が県立薬園台高校園芸科の生徒に対し、「造園業の魅力と造園実習」の出前授業を行った。
- ③ 県立我孫子高等技術専門校造園科生徒に、街路樹剪定士実技試験の剪定見学と「街路樹とは」の講習を高度ポリテクセンターにおいて実施した。
- ④ CCIちば（千葉県魅力ある建設事業推進協議会）が実施する後継者育成活動として、松戸市立牧野原小学校での出張授業「学校建設現場で働く人たち」及びいすみ市立国吉中学校での「千葉県の建設業のお仕事」に講師を派遣した。

ウ 情報の収集と提供

機関誌「ちばの緑」や「協会だより」の発行により協会員のみならず、県や市町村を始め、関係機関・団体に協会活動や造園に関する情報を提供した。

エ 経営発展や経営革新のための戦略構築支援

県と千葉県建設産業団体連合会が共催する経営者講習会と技術者講習会に参加した。

(3) 協会基盤強化事業

ア 関係機関との連携

- ① 県関係部局と意見交換会を開催し、協会活動に対する理解を深めていただくため、海岸保安林の再生、門松づくり講習会と寄贈などの活動を紹介しながら、造園関係の予算確保、建設業の工程と造園工事の幅広さと活躍の確保、近年多発する自然災害への対応、海岸防災林の再生事業等について要望した。
- ② 群馬県が当番県として主催した「関東甲信造園建設業協会協議会」に参加し、「協会と行政のかかわり方」、「人材確保」、「協会の話題」の3分科会に分かれ意見交換を行った。
- ③ 県内建設業界唯一の横断組織である千葉県建設業団体連合会の主催する説明会等の行事に参加し、情報収集や構成団体相互の連携を図った。